

2017年(平成29年)11月10日(金曜日)

わいせつ危険度自らチェック

県教育委員会は9日、教職員によるわいせつ事案防止に向けた特別対策として、わいせつ行為を行う危険性があるかを自分自身で確認するための「自己分析支援チェックシート」を作成したと発表した。六つの設問に対して、三択で回答

する方式。年内に県内の全教職員約1万8000人を対象に配り、回答してもらう。シートは、自分に小児性愛の嗜好があるかなどが分かるもの。県教委は、NPO法人性犯罪加害者の処遇制度を考える会・性障害専

教職員に

「設問シート」

門医療センター(SOME C)の代表理事で、医師の福井裕輝さんに作成を依頼した。
シートでは、「子どもに対する性的な想像や考えを持つていてもそれは少なくとも子どもを傷つけていないからそんなに悪い」とではないなどの六つの設問に「とても思う」「そう思う」「そう思わない」「三択で回答する。」という

県教委「気づいたら相談を」

が一つでもあれば、同センターでの相談を促す。
県教委は、来年3月下旬にも、臨床心理士に依頼したもう一種類のシートを導入する予定。それぞれを毎年一回実施してもらうが、回収は行わないという。
県教委では、「県教委としては、それぞれの結果に関与しない。自ら気づいて相談してほしい」としている。